

映画『ふるさとをください』を觀ませんか

を觀ませんか

「ふるさとをください」は

われまず（一般公開3月）。

和歌山市岩橋にある『麦の郷』がモデルになつて、精神障害者と地域をテーマにした映画です。

全国に先駆けて、精神障害者の働く場や地域で生活することを実践してきた『麦の郷』の優れた取り組みを、また私たちの身近な存在でもある地域の仲間という意味でも多くの人に觀ていただきたい映画です。

昨年10月に克蘭クインし、『麦の郷』の仲間たちの出演や和歌山でのロケなどが行われました。この1月中旬に完成し2月9日に試写会が行



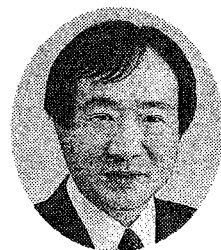
少し遅くなりましたが・・・あけましておめでとうございます。

去年は“偽装”がクローズアップされた年でした。

しかし、同時に参議院選挙では自・公政権にノーを突きつけた国民の審判や薬害肝炎をめぐる被害者の声が政治を動かすなど、国民の底力が垣間見える場面もたくさんありました。

いよいよ2008年は「国民が主人公」へと政治の流れを変えるときです。今年行われるであろう総選挙では、みなさんの大きなご支援をぜひよろしく願いいたします。

こんにちは！ 藤井健太郎です



昨年暮れから今年に入っても漁船やハウス農家で使う重油、トラックの軽油やガソリンをはじめ家庭用の灯油など大変な値上がりです。近くのガソリンスタンドでは灯油1缶1850円にもなっていました。

県議団は12月議会で仁坂知事に原油高騰から県民生活を守るための質問や申し入れを行いました。県はさっそく「原油高騰対策にかかる庁内対策会議」を設置し各課での相談、緊急融資や利子補給、返済条件の緩和、生活困窮者の見守りなどを進めるとしています。

多くの国民が悲鳴を上げているのを横目に、笑いが止まらないのが大手石油資本と原油・穀物市場で大量に買いあさる投機家です。石油価格の規制撤廃や市場への投機資金の呼び込みが、くらしと経済の破壊を招いています。こんな政治を止めさせるためにも今年もがんばります。
(ふじい けんたろう)

生活相談

◆ 毎週木曜日 午後1時～4時まで
森下さち子事務所にて

Tel 475・8122

◆ 1月31日 午前9時～11時まで
生協芦原診療所にて

Tel 423・4349

みなさんのお宅は大丈夫？ 震災時の屋内家具「落下・転倒」が死亡原因の49%

阪神大震災、新潟中越地震では、屋内の家具、電化製品などの落下や転倒で圧死する、あるいは逃げ場を失い命を落とすということが多くを占めました。

家具類、小・中学校で言えば本棚、掃除道具を入れたロッカー類、ピアノ、テレビ、窓ガラスなど、ほとんどが固定されておらず、「落下・転倒」への対策はまだまだこれからとなっているのが現状です。

を講じたことを紹介しました。今後、和歌山市の公共施設、特に子供たちの学習・生活の場である保育所、幼稚園、小・中学校など、専門家の意見を取り入れながら早急に対策をすすめるよう求めました。

和歌山市の状況は？

和歌山市はこの間、小学校・中学校の耐震診断と改修を進め、その点では全国的にも進んだ自治体といえます。しかし、一方で屋内にある

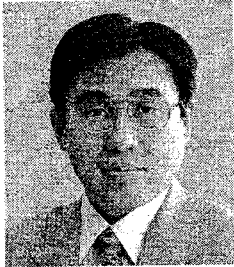
議会で要求

南畑議員は12月議会でのこの問題を取り上げ、和歌山市では県下で始めて国の補助金を利用して広瀬保育所が屋内対策を



衆議院和歌山1区
比例代表予定候補

くにしげ 秀明



今年は総選挙必至。地球温暖化の問題が争点の一つになりそうです。

年頭から、特別番組が放映されたり、新聞では意識調査が発表されて「『選挙で環境考慮』7割」(「朝日」7日付)とされるなど、関心は高い。新春番組では航空機による出張を減らしてTV会議を増やしている企業やエコカー購入への補助金など、欧州諸国の取り組みが紹介されていました。

日本は温室効果ガスを増やしています。企業の「自主性」に任せてきた自民党政治の責任は重大です。日本はアメリカなどと共に厳しい批判を浴びています。「日米同盟」の害悪をただすため今年も頑張ります。

(くにしげ ひであき)

おっまきく なあわれ

森下さんちの
元哉くん
成長日記

元哉が中3。妹の風優が小6。我が子ながらずい分大きくなったなあと思います。私の議員生活をずっと支え、見守って下さる方々も2人を見て「もう、そんなになるか?」と驚かれます。幼小の頃は夜の会議など、どう段取りして出るかに頭を悩ませたものでした。それが最近では母の帰宅時間を見越してお米をといでいたり、母が疲れて眠ってしまっただ後の片付けを済ませていたり、頼まなくても家事をするまでになりました。元哉はイスで眠ってしまったり、私に毛布をかけてくれる。風優は「早く眠った方がいいよ」と手紙を置いてくれるなど、それぞれに優しい面ものぞかせてくれています。子どもたちの成長の陰には、様々な人たちの関わりがありました。今、子育ての難しさが言われています。我が家の子育ても多くの人たちの協力、関わりがあったからこそ、今の子どもたちの姿があると確信しています。心から感謝すると共に、みんなが子育てできる環境づくりのために、今年もがんばります。